

## 学校長式辞

日ごとに暖かさを増す日の光に、希望に満ちた春の息吹を感じるころとなりました。

今日のこのよき日に、令和元年度岐阜県立大垣工業高等学校卒業証書授与式を挙行できますことは、教職員一同この上ない喜びでございます。厚くお礼を申し上げます。

ただいま卒業証書を手にした、三百六名の卒業生の皆さん、ご卒業、誠におめでとうございませう。いよいよ学び舎からの巣立ちです。一人一人が希望を胸に抱いて、大きく羽ばたこうとされていることと思います。皆さんのこれからの人生が、充実して豊かなものになることを心から願っています。

また、今日まで卒業生を、励まし支えてこられました保護者の皆様には、お子様のご卒業を心からお祝いを申し上げます。小学校入学からの十二年度の長い学校生活を無事に過ごせるようにと、保護者の皆様はさぞご心配やご苦労をされたことと思います。ランドセルが歩いているようだった小学一年生が今や立派な十八歳の若者になりました。感慨も一入だと思えます。

卒業生の皆さんが本校に入学してから今日までの三年間、我々教職員も、質実剛健の校訓に基づいて、様々な教育活動を進めてきました。授業、学校行事、生徒会活動、部活動等を通して、社会を生き抜くことのできる確かな学力や健やかな心身を育成し、他者と良好な関係を築くことのできる豊かな心の醸成に努めてまいりました。期限を意識して多くの時間を費やした実習レポートや先がなかなか見えなかった課題研究、学科ごとに団結して競い合った運動会、仲間との友情を深めた修学旅行、限界まで挑戦した強歩大会等、一つ一つの経験がそれぞれの糧となり、卒業生の皆さんが凛々しくたくましい姿に成長したことを本当にうれしく思っています。

さて、皆さんは令和最初の卒業生となりました。平成時代は長い不況、多くの自然災害等大変厳しい時代でした。新しい元号の下、東京オリンピックパラリンピック、大阪万国博覧会等の大きな行事開催に向けて、明るい時代になることが期待されています。

皆さんは、平成の厳しい時代に受けた教育を活かして、新しい元号の時代にキャリアを積んでいくこととなります。これからはソサイアティー五・〇の時代、A-1が発達した超スマート社会に

なるといわれています。技術的には便利で快適な世の中になっていきそうですが、世界情勢を見てもみすと不安が残ります。

イギリスのEU離脱、その影響がヨーロッパだけではなく徐々に世界に広がっていきそうです。また、アメリカ・ロシア・中国の三つの大国が、自国利益優先の政策を行い、健全に世界をリードする国がなくなりそうです。さらに、新型コロナウイルス（COVID-19）による中国経済の停滞が他国に波及しましたし、良き隣人のはずの韓国との関係もますます難しいものとなってきました。

これからの日本が、経済で世界を引っ張っていくだけではなく、国同士の絆も深められる本當の意味での先進国になるためには苦しかった平成時代に教育を受けた皆さんの力が必要です。と言いつても、何か大きなことをしなければならぬということではありません。それぞれが「素晴らしい仕事をする」ことが、日本全体を盛り上げ、かつこのグローバルな世の中をよりよくしていくことになると思っています。

さらに、「素晴らしい仕事をする」とことは世の中をよくしていくだけではなく、皆さん自身の幸せにもつながっていくと考えています。では、「素晴らしい仕事をする」とはどういうことなのか。アップルコンピュータやGoogleを作ったスティーブジョブズがある卒業式の挨拶の中で言っていた言葉を引用します。

「素晴らしい仕事をする」唯一の方法は、自分のやっていることを好きになることだ。まだそれを見つけていないのなら、探し続けなければいけない。

安住してはいけない。心の問題のすべてがそうであるように、答えを見つけたときには、自然とわかるはずだ。」

と言っています。ジョブズが言うように皆さんも自分の与えられた仕事を好きになる、または好きな仕事を見つけたということが「素晴らしい仕事をする」につながると思います。

日本は加工貿易の国です。原材料を他国から輸入し、付加価値の高い製品を作り、それらをまた他国に買ってもらうことで、利益を上げています。日本には残念ながら、資源も広大な国土もありませんし、国の借金も膨大なものとなっています。さらに、食料自給率は40%を切る事態となっています。つまり、モノづくりで利益を上げないと、満足な食事をすることもできない国になってしまっています。

この食べ物もない、莫大な財政赤字を抱えた、厳しい状況の日本を救えるのはモノづくりの最前線のリーダーとなる皆さんです。誇りと自信をもって、自分が好きだと思えるものづくりに打ち込んでください。それがこの国を救うことになると思います。

さらに皆さんの幸せのためにお願いがありません。それは大垣工業高校の絆を大切にしたいということですが、皆さんが働く企業、大学等に進学してからやがては働く企業にもほとんどすべてが大垣工業の同窓生がいらっしやいます。その方たちが入社される皆さんを暖かく迎えてくださることは間違いありません。いかなる仕事も一人ではできません。チームとして協力しなければ前に進むことはできません。そして、チームの柱となるのが、大垣工業の同窓生であると思っています。先輩同窓生に助けられる皆さんはやがて入ってくる後輩同窓生に援助の手を差し伸べてください。そうすることによって縦のきずなをしっかりと築かれていくものと思います。さらに、今同時に卒業する三百六名のこの仲間たちとの横のつながりも大事にし、お互いに助け合える関係を維持してください。この同窓生の縦と横のつながりを大切にすることが、人生のピンチを救うことになったり、皆さんに幸せをもたらしてくれるものと考えられています。昨日皆さんが入会した、大垣工業同窓会は大変立派な組織です。若い時は同窓会活動を面倒に思うときもあるかもしれませんが、先ほど述べた縦と横のつながりを維持していくためにも積極的な参加を願っています。

結びにここにいる卒業生全員が、素晴らしい仕事に携わり、同窓生の絆を大切に、幸せいっぱいな笑顔溢れる毎日となり、素敵な人生を送られることを心から祈念して式辞とします。

令和二年三月一日

岐阜県立大垣工業高等学校

校長 森 保

## 育友会長 祝辞

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。

さて、卒業生の皆さんは今日でこの伝統ある大垣工業高校を卒業し、新しい道を進んで行かれます。

三年前、この体育館で入学式を迎えた時の自分は、どのような気持ちだったでしょうか。大きな夢を叶えるために入学された方、ほんやりしているが目指すものをもって入学された方、「三年前になりたかった自分に、今なれていますか?」そう聞かれたら、今の君はなんて言いますか? 三年間の高校生活終えて就職、進学とそれぞれの道に踏み出して行きます。今までは、家族や周りの大人が常に支え守ってくれる生活がありました。が、これからは、自分の意思が尊重され、選択できる幅が広がる反面、自分自身の責任も大きくなります。人として、社会人として自覚と責任をもってこれからの長い人生を進んで下さい。

皆さんがこれから生きていくうえで、様々な悩みや困難にぶつかることもあるでしょうが、そんな壁を避けて通るのではなく、壁を乗り越えて行って下さい。一人で超えられない壁なら、家族や友人、会社の仲間や先輩、色々な人と一緒に越えて下さい。そのために、人として周りの方としっかりコミュニケーションをしっかりと取って社会で活躍できる人になってほしいと心より願っています。

保護者の皆様、改めてご卒業おめでとうございませう。三年間、あつという間ではなかったでしょうか。中学とは違い、遠くから自転車や電車で登下校をされる生徒さんも多数みえました。部活で朝早く、夜も遅くなる生徒さんもみえ、心配されることもあったでしょう。しかし、子どもたちは私達が思った以上にたくましく成長しています。これからも、良きアドバイザーとして彼らを見守り続けて行きましょう。

最後に三年間、ご指導下さいました、校長先生をはじめ、諸先生方、本場にありがとうございました。これまでの育友会活動に対するご協力に感謝申し上げますと共に、子どもたちの輝かしい未来を祈念しお祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

令和二年三月一日

育友会会長 佐藤昭三

## 在校生 送辞

古今和歌集に、「袖ひちりむすびし水のこほれ  
るを春立つけふの風やとくらむ」といった和歌が  
あります。今日はまさにそうした春の訪れを感じ  
られる日です。大垣工業高校を卒業される先輩  
方、ご卒業おめでとうございます。こうして先輩  
方のお姿を目にしておりますと、数々の思い出が  
溢ればかりに浮かんでまいります。

私事で恐縮ですが、私は生徒会の執行部を一年  
生の三学期からやらせて頂いています。その経験  
の中で、先輩方から、責任感の大切さ、学校行事  
の運営の楽しさと裏方の大切さ、そして、人と人  
との協調性の大切さを学ぶことができました。例  
えば、生徒会では上位大会に進出する部の壮行会  
で、上映する部活動ビデオの撮影などがありまし  
た。それはもちろん期日までに完成させなければ  
なりません。そして担当の者も、それをまとめ  
る者も見通しを立て、一人一人が責任感をもって取  
り組んでいかなければいけないことを学びまし  
た。

また各行事の運営など裏方の大切さについて  
は、生徒会活動の主たる行事である文化祭や運動  
会などにおいて、行事の運営にかかわらせていた  
だき、例えば文化祭でのポップコーンなどの企画  
が成功した時の喜び、その大切さを学びました。  
また、生徒会の先輩方は文化祭、運動会などの準  
備を行っている際、すでに執行部からは離れてい  
るにも関わらず、私たち後輩の仕事であるところ  
を手伝いに来て下さいました。そのような、人  
を思いやって行動できる姿に協調性の大切さを学  
びました。今、この場にいる在校生はそれぞれが  
それぞれの立場で先輩方との思い出を思い浮かべ  
ていると思います。またさらにこうした個人の  
関わりとは別に、運動会では、先輩方の鬼気迫る  
ほどの応援を目の当たりにし、物事に真剣に取り  
組むことよって生まれる力を教えてもらいまし  
た。文化祭では課題研究の研究を通し、それぞ  
れの学科で三年間学んできた知識を持ち出し、仲間  
と共に研究に取り組む姿が目浮かび、協力して  
取り組むことの大切さを教えていただきました。  
また、部活動では、日々の辛く苦しい練習をコツ  
コツと続け、大会やコンクールで活躍される姿に  
努力を積み重ねることの大切さを知ることでもで  
きました。さて、これから就職や進学をし、巣立っ

ていられる先輩方に、下級生ではありますが、代  
表してエールを送らせていただきます。

先輩方は、新しい世界に期待や不安な気持ちがあ  
ると思いますが、そんな時、この三年間を通して、  
仲間と共に培った「質実剛健」の精神を胸に、不  
安を希望に変え、夢が叶うと信じ進んでいくてく  
ださい。決して夢を諦めず、持ち続けてくださ  
い。大垣工業高校生としての誇りをどうか忘れ  
ず、身につけた経験、知識を活かし、活躍して  
ください。私たちが在校生はそんな先輩方に追いつ  
けるよう精一杯頑張っていくます。先輩方が今まで  
受け継いできた伝統を、私たちが在校生が引き継  
ぎ、より活気のある学校にしていくことをお誓い  
いたします。

名残は尽きません。いよいよお別れの時です。  
これまでに私たちが育ててくださった先輩の皆様  
には感謝とお礼の気持ちでいっぱいです。今まで  
大変お世話になりました。ありがとうございます。今  
までは大垣工業高校を訪れていたいただき、私た  
ちを励まして下さいますよう、お願い申し上げます。  
最後に、卒業生のご健康とさらなるご活躍  
を心よりお祈り申し上げ、在校生の送辞とさせて  
いただきます。

令和二年三月一日

在校生代表 熊沢優月

## 卒業生 答辞

寒さの厳しかった冬が終わりを告げ、柔らかな  
春の日差しを感じられる今日。令和二年三月一  
日、私たちは岐阜県立大垣工業高等学校を卒業す  
る日を迎えました。本日は、私たち卒業生のため  
にこのような素晴らしい卒業式を挙げていただき  
ありがとうございます。また、ご多忙の中、ご  
臨席を賜りましたご来賓の方々、保護者の皆様方  
に対しまして、卒業生を代表し心よりお礼申し上  
げます。

卒業する今、大垣工業高等学校で過ごした三年  
間の思い出一つ一つが昨日のことのように思い出  
されます。私達は三年前の四月、この場所で入学  
式を迎えました。新しい環境に期待と不安が入り  
混じる中、新しい仲間に出会いました。入学して

早々のクラスは硬い雰囲気、皆一様に馴染んで  
いくのが難しかったと思います。少しずつ打ち解  
け合ってきた頃、球技大会が開催されました。大  
会当日は勝利するためにどのチームも一丸となっ  
て戦い、親睦を深めることができました。そし  
て、十月の運動会では、校訓である「質実剛健」  
の名にふさわしい姿勢で、どの団体も優勝を目指し  
ました。続いて十一月の文化祭では、個性溢れる  
出し物でいっぱいになりました。様々な作品に触  
れたり、自分で作った物を提供する体験を通し  
て、楽しさや、充実感、提供するもの作りの良さを  
肌で感じる事ができました。また、一月の強  
歩大会では、寒さに耐え、長い距離を友人たちと  
競い合いながら走りきることができました。どの  
行事も、私たちが成長に導いてくれた大切な行事  
です。様々な行事に参加することで、とても充実  
した一年間を過ごすことができました。

二年生に上がり後輩ができること、皆部活動に更  
に力を入れるようになり、多くの部が素晴らしい  
成績を収めることができました。同じ大工生が表  
彰されている姿を見ると、勝手ながら誇らしい気  
持ちになりました。夏休みには、企業へのインタ  
ーシップに臨みました。実際の仕事を自ら体験  
することで、自分がどれだけ、社会の厳しさや大  
変さを甘く見ていたのか痛感しました。そのよう  
な夏を過ぎると、私たちの関心は、修学旅行へと  
向いました。当日は、平和学習や原爆資料館での  
見学を通し、平和について考えをめぐらせまし  
た。そして、十二月になると、私は海外インタ  
ーシップに参加させていただけることとなり、台  
湾へ向かいました。同じ企業の日本工場と台湾工  
場を見学しましたが、日本と共通している所や、  
台湾の素晴らしいところなどを見つけることがで  
き、良い勉強になりました。また、日本にはない  
文化に触れることも、良い刺激を受けました。

そして、最上級生となり、それぞれが自分の進  
路を考える学年となりました。自分が働きたい就  
職先や進学先を一生懸命になって探し、受験勉強  
に励みました。面接練習の際には、多くの先生方  
が生徒一人一人の確かなアドバイスをしてくださ  
いました。また、友人同士で面接練習をしなが  
ら、意見交換している姿もみられました。試験に  
合格した時は、先生方や友人たち、家族が自分の  
ことのように喜んでくれました。自分と向き合  
い、周りの人々に応援してもらったこの一年間は  
私たちにとってかけがえのない、非常に大切な時  
間となりました。この三年間、私たちが充実した  
生活を送ることができたのは、たくさんの方の支

えがあったからです。先生方は、時には厳しく、  
時には優しく、私たちを見守り、指導してくださ  
いました。授業中は、生徒一人一人の意見や質問  
に耳を傾けて下さり、恵まれた環境の中で勉強を  
することができました。他にも、これから社会で  
生きていくためには何か必要なかを的確にアド  
バイスして下さいました。決して妥協を許さず、  
私たちの可能性を信じて、最後まで応援して下さ  
った先生方に教えていただいたことは、私たちに  
とって大きな財産です。本当にありがとうございました。

また、辛いことや悲しいこと、嬉しいことがあ  
った時、いつもそばには友人の存在がありました。  
目標を見失い、立ち止まってしまった時には  
手を引いてくれました。自分は一人ではないこと  
を気づかせてくれたのも友人でした。そのような  
友人たちと出会えたこの大垣工業高等学校に通う  
ことができ、本当に良かったと思っております。  
そして何より忘れてならないのは、今まで私た  
ちを一番近くで見守ってくれた家族です。自分の  
ことを一番理解してくれているのに、なかなか素  
直になれず、色々心配をかけたこともありまし  
た。ですが、今では「愛」に包まれ、支えられた  
からこそ、ここまで成長することができたのだと  
胸を張って言えます。

さて、在校生の皆さん。皆さんとは、部活動や  
学校行事を通して時間を共に過ごしてきました。  
過去の先輩方が私たちに残してくれた伝統を、皆  
さんに上手く伝えることができたか不安に思うと  
ころもあります。しかし、私たちは皆さんがいて  
くれたおかげで、少しでも立派な先輩になろうと  
努力したと自信を持って言えます。皆さん一人一  
人が校訓である「質実剛健」を心に、これからの  
学校生活に精進していきましょう。  
今日、私たちは卒業します。この大垣工業高等  
学校での思い出や学んだことを胸に、それぞれの  
道に歩いていきます。そして、困難なことに直面  
しても、決して諦めずに頑張っていきたいと思います。  
最後になりましたが、今までお世話になりました、  
校長先生をはじめとする諸先生方、友人、家  
族、在校生の皆さんに改めて感謝するとともに、  
大垣工業高等学校の更なる発展を卒業生一同、心  
よりお祈りし、答辞の言葉とさせていただきます。

令和二年三月一日

卒業生代表 中西 一起